令和8年度春期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職：研究開発戦略課　係員
氏名：久米　雄也

受入課室等名	科学技術・学術政策局　研究開発戦略課		
募集学校種	○ 大学院　○ 大学　□ 短期大学　□ 高等専門学校　□ 専門学校 □ 高等専修学校　□ 高等学校　□ 中学校　□ 問わない （○がマークされている部分が希望学校種となります）		
受入時期 受入期間	2月8日(月)　～　2月26日(金) 1～2　週間	受入人数 （受入時期内の合計受入数）	2人
選考時の面接の実施予定	予定あり　□ 予定なし　□		
受入条件	特になし。		
実習内容	下欄「受け入れ課室等紹介」に記載している課の業務を踏まえ、応募者の希望に基づき相談の上計画します。 以下は考えられる実習内容例です。 ○新規事業の設計に関する打ち合わせ ○有識者が集まる会議の運営、傍聴 ○大学の研究者との打ち合わせの参加 ○委託事業者との打ち合わせの同席、シンポジウムの設計 ○認定制度運営業務・委託調査業務等への参加 ○新興・融合領域の分析・調査		
受入課室等紹介	研究開発戦略課は、科学技術・学術の政策立案に資する国内外の情報収集や分析、文部科学省として推進すべき研究開発分野の検討、戦略的な研究開発の実施、研究開発の評価の推進を一体として担っています。文部科学省の研究開発分野における司令塔機能を期待されている部署です。 科学技術・イノベーションの発展に向けて様々な業務を前向きに行っている課となっておりますので、研究開発戦略課のインターンシップに参加いただいた方には、こうした当課の業務を体験いただき、我が国の科学技術政策を俯瞰的に考え、どのように進めていくべきかなどを考えられる機会を得ていただきたいと考えています。		
受入課室等からのひと言	研究開発戦略課の業務に関心があり、意欲のある方の参加を課員一同お待ちしております！		

令和8年度春期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職: 総括係長
氏名: 冨樫　珠里

受入課室等名	科学技術・学術政策局　人材政策課			
募集学校種	○ 大学院　○ 大学　○ 短期大学　○ 高等専門学校　□ 専門学校 □ 高等専修学校　□ 高等学校　□ 中学校　□ 問わない （○がマークされている部分が希望学校種となります）			
受入時期 受入期間	2月1日(月)　～　3月26日(金) 2　週間		受入人数 （受入時期内の合計受入数）	1人
選考時の面接の実施予定	予定あり　□ 予定なし　○			
受入条件	・文部科学行政（特に科学技術）に関心のあること ・基本的なパソコン操作ができること（※成果物作成のため必要となります）			
実習内容	・人材政策課の取組に関する業務説明、意見交換、課題検討体験 ・業務に関する打合せ、会議、イベント等への参加、準備体験、補助 ・人材政策課の取組に対する政策提案、そのための意見交換、背景知識の習得　等 ※具体的な内容は応募者の志望動機や希望、実習日程によって設定します。			
受入課室等紹介	人材政策課では、科学技術の進歩、ひいては日本の発展のために、「人材」の切り口から、科学技術政策に携わっております。その政策の対象は、第一線の研究者や技術者に留まらず、初中等段階の児童生徒から一般国民にまで広く及ぶものです。本インターンシップを通じて、これからの日本の科学技術を担う人材の育成について、政府がどのように考えて、どのように取り組んでいるのか、日本の科学技術・イノベーション政策の最前線を体験することができます。 【当課が関わっている主な施策】 ・産業・科学革新人材事業（INSIGHT） ・博士課程学生支援（SPRING、BOOST、学術振興会特別研究員制度など） ・次世代育成事業　（スーパーサイエンスハイスクール、女子事業など） ・研究開発マネジメント人材育成事業（研究開発マネジメント人材に関する体制整備事業、研究開発マネジメント人材の基礎・応用力育成事業など） ・科学コミュニケーションの推進　（日本科学未来館、STEAM教育など） ・科学技術振興機構（JST）に関する予算・法人評価・事業についての業務 ・技術士制度　等			
受入課室等からのひと言	人材政策課の業務に関心があり、意欲のある方の御参加を歓迎いたします。 御希望に応じて、人材政策課以外の職員にも話を聞く機会を積極的に設ける予定です。			

令和8年度春期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職：参事官補佐
氏名：菊池　継亮

受入課室等名	科学技術・学術政策局 参事官(研究環境担当)付			
募集学校種	○ 大学院　○ 大学　□ 短期大学　○ 高等専門学校　□ 専門学校 □ 高等専修学校　□ 高等学校　□ 中学校　□ 問わない （○がマークされている部分が希望学校種となります）			
受入時期 受入期間	2月1日(月)　～　3月26日(金) 2　週間		受入人数 （受入時期内の合計受入数）	2人
選考時の面接の実施予定	予定あり　□ 予定なし　○			
受入条件	世界最高水準の研究基盤が支える魅力的な研究環境の実現に興味・関心のある方を歓迎いたします。専門的な知識や技術は必要ありませんが、研究室やゼミ等で実際に研究に従事した経験がある方が望ましいです。			
実習内容	参事官付では、下記の「受入れ局課室紹介」欄に記載している様々な業務を行っています。 具体的な実習内容については、参加者の御希望等も踏まえて計画しますが、実習期間を通じて、「世界最高水準の研究基盤が支える魅力的な研究環境の実現」について、検討いただく予定です。テーマに関連する調査・分析、資料作成、会議等の準備・傍聴等の実習に加え、当課に限らず様々な職員から直接話を聞いていただき、幅広い視点で検討を深めていただきます。最終日には、文部科学省として、今後取り組むべき方向性や対応方針について発表いただく予定です。学生の皆様だからこそ提案できるアイデアを楽しみにしております。			
受入課室等紹介	参事官(研究環境担当)付では、SPring-8/SACLA、NanoTerasu及びJ-PARC等の世界に誇る先端大型研究施設について、国内外の多くの研究者に開放しています。これらの施設は、幅広い分野への貢献が期待されており、例えば、令和7年にノーベル化学賞を受賞した北川進博士は、SPring-8を用いて多くの実験を実施していました。 また、世界水準の魅力的な研究環境を実現するため、我が国の研究基盤を刷新し、若手を含めた全国の研究者が挑戦できる魅力的な研究環境の実現に向けて、大学や研究機関、民間からの出向者など、多様なバックグランドの職員が取り組んでいます。その他、競争的研究費の調整や研究公正の推進などにも取り組んでいます。 【参事官(研究環境担当)付の紹介】 ○文部科学省入省案内パンフレット(P.12-13参照) https://www.mext.go.jp/content/20260105-mxt_jinjisou01-000000452_1.pdf			
受入課室等からのひと言	研究基盤や研究環境について関心のある方はもちろん、行政・国家公務員の仕事に興味のある方の応募も大歓迎です。文部科学省でのインターンシップ経験を有する職員も複数おり、意欲のある積極的な方の参加をお待ちしております。今回のインターンシップが、皆様の進路選択の一助になれば、幸いです。			

令和8年度春期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職：室長補佐
氏名：加藤　達矢

受入課室等名	科学技術・学術政策局　科学技術・学術戦略官（制度改革・調査担当）付		
募集学校種	○ 大学院　○ 大学　□ 短期大学　○ 高等専門学校　□ 専門学校 ○ 高等専修学校　□ 高等学校　□ 中学校　□ 問わない （○がマークされている部分が希望学校種となります）		
受入時期 受入期間	2月1日(月)　～　3月19日(金) 1～2　週間	受入人数 （受入時期内の合計受入数）	1人
選考時の面接の実施予定	予定あり ○ 予定なし □		
受入条件	事前に専門的知識は必要ありませんが、科学技術政策に関心の高い者が望ましいです。		
実習内容	科学技術・学術審議会の運営補助 国の研究開発課題の評価の運営補助 国立研究開発法人審議会の運営補助		
受入課室等紹介	科学技術・学術戦略官（制度改革・評価担当）付は、科学技術・学術政策局の政策課と研究開発戦略課の所掌する研究開発に関する評価に係る業務を横断的に担当している組織です。 具体的には、文部科学省が実施する研究開発課題（プロジェクト）と、弊省所掌の国立研究開発法人の業務に対する評価を担当しており、研究分野を超えた、弊省の組織を俯瞰した業務を担っています。 また、上記の取組に加え、文部科学省の科学技術・学術政策に対し、専門的な知見を有する有識者より意見を伺うとともに、広く社会に公開するための科学技術・学術審議会を担当しています。		
受入課室等からのひと言	科学技術・学術戦略官（制度改革・評価担当）付は、文部科学省が実施する研究開発施策の動向に広く触れることができる組織です。当付でのインターンシップを通じ、科学技術政策への理解を深めて、今後のキャリア形成の一助にしてください。		